

言語・文学委員会分科会の設置について

分科会等名： 科学と日本語分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	言語・文学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>言語・文学委員会の設定した課題「日本語の将来への提言」のための作業部会として、科学の発展に伴う日本語の環境の変化と、それが引き起こす諸問題についての検討を行う。</p> <p>情報技術の急速な発展は、かつて経験したことがないような様々な変化を日本語にもたらしている。例えば、コンピュータの普及に伴う日本語の表記方法の根本的転換、携帯電話、スマートフォン、ソーシャルネットワーキングサービス等の普及に伴う日本語の変質が急速に進みつつある。</p> <p>それと並行して、日常語としての各地の言語・方言（手話を含む）が衰退し、日本における言語の多様性が急速に失われつつある。</p> <p>このような状況の中で、日本語がどのように変わっているのかを分析し、可能な対策を審議することを目的としている。また、テキスト・音声・画像・動画等の認識に関する科学技術が進歩する中で、多様な日本語資料をどのように整備するのかについても議論する。</p>
4	審議事項	科学の発展がもたらす日本語の変化の解析と、その変化に対する可能な対策に関すること。
5	設置期間	令和2年10月29日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上の継続